

作成日 2016年6月1日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名(品名コード) : マウス胚凍結保存液キット

DAP213 保存液(50)

DAP213 保存液(10)

対象 : DAP213 保存液

商品コード : 248115 / 248177 / 248276

製品番号 : DR0101 / DR01015 / DR01035

化学物質等の名称 : アセトアミド (含有量 : 5.3%)

会社名 : 株式会社 L S I メディエンス

住所 東京都千代田区内神田一丁目13番4号

問い合わせ先 : 学術部 インフォメーション担当

電話番号 (緊急電話番号も同一) 03-5994-2516

整理番号 1630

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	区分外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外

健康に対する有害性	金属腐食性物質	分類できない
	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	区分外
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報：

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き：

**【安全対策】**

個人用保護具を着用すること。

**【応急措置】**

ばく露、もしくはその恐れがある場合、医師の治療を受けること。

## 【廃棄】

関連法令・条例に従って内容物／容器を廃棄すること

### 3. 組成、成分情報

単一成分・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：アセトアミド（含有量：5.3%）

別名：情報なし

化学式：CH<sub>3</sub>CONH<sub>2</sub>

C A S 番号：60-35-5

官報公示整理番号

(化審法)：(2)-724

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。医師に連絡すること。呼吸が不規則だったり、止まったりするときは人工呼吸器を導入する。直接皮膚に接触させないこと。マウストゥマウスによる蘇生を行う際にはバリア剤を用いること。

#### 皮膚に付着した場合

必要なら医師に相談すること。すべての汚染された衣服と靴を脱ぎ、せっけんと大量の水ですぐに洗浄すること。

#### 眼に入った場合

すぐに大量の水で洗浄すること。最初の洗浄後、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分間は洗浄を続けること。洗浄中には、眼をしっかりとあけること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐ。大量の水を飲む。症状が続く場合には、医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

#### 応急処置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、泡、粉末消火剤、砂

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

特有の消火方法

利用可能な情報はない

火災時の特有危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

消火を行なう者の保護

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

処理が終わるまで十分に換気を行う。

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

水路、地下室、下水管や密閉空間へ入るのを防ぐ。表層水や衛生的な下水道システムに流さないこと。その他の環境情報については12項を参照すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。

#### 注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

#### 安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

#### 保管

安全な保管条件

保管条件 2～10℃

安全な容器包装材料 ガラス

混触禁止物質 強酸化剤

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 設備対策

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する  
ばく露限界 この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含むしていない。

#### 保護具

呼吸器用保護具 保護マスク

手の保護具 保護手袋

#### 眼の保護具

密閉できる安全眼鏡、側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

#### 皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

#### 適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

### 9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

臭い：特異臭(アセトアミドとして)

pH：データなし

沸点：データなし

引火点：データなし

発火点：データなし

## 10. 安定性及び反応性

本製品に含有しているアセトアミドに関する情報を以下に示す。

### 安定性

安定性 潮解性がある。

反応性 データなし

### 危険有害反応可能性

通常処理ではなし。

### 避けるべき条件

高温と直射日光, 湿気

### 混触危険物質

強酸化剤

### 危険有害な分解生成物

一酸化炭素(CO), 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>), 窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)

## 11. 有害性情報

本製品に含有しているアセトアミドに関する情報を以下に示す。

### 発がん性

IARC での分類でグループ 2B(IARC(1999))、EU DSD 分類で「Carc. Cat. 3; R40」、EU CLP 分類で「Carc. 2 H351」に基づき、区分 2 とした。

### 生殖毒性

ウサギに経口投与により 1000mg/kg/day 以上で胎仔生存率低下、3000mg/kg/day 群で吸収胚の増加が見られたとの報告(環境省リスク評価第 5 巻(2006))があるが、同じ論文(BirthDefects(3rd, 2000))は陰性と評価していることから分類できないとした。ウサギを用いた経口経路(強制)での発生毒性試験において、1,000 mg/kg/day 以上の群で胎児の生存率低下と低体重、3,000 mg/kg/day 群で吸収胚の増加がみられた(環境省リスク評価第 5 巻：暫定的有害性評価シート(2006))、この試験において、母動物毒性の有無を調べた結果、1,000 mg/kg bw/day で軽微な毒性(詳細不明)、3,000 mg/kg/day で体重増加抑制、呼吸促拍、不穏がみられた(Markle, J. and H. Zeller(1980))。以上、母動物に影響がみられる

用量において胎児の生存率の低下がみられていることから、区分2とした。

## 12. 環境影響情報

本製品に含有しているアセトアミドに関する情報を以下に示す。

### 水生環境有害性(急性)

甲殻類(オオミジンコ)での 24 時間 EC50>10g/L(AQUIRE, 2010)であることから、区分外とした。

## 13. 廃棄上の注意：

### 残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

### 汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

## 14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法：適用（名称等を表示すべき有害物）

毒物及び劇物取締法：適用外

消防法：本製品には、危険物第4類 第3石油類 危険等級Ⅲ 水溶性に該当する化合物が、約38%含有されている。

化管法：第2種指定化学物質(法第2条第3項、施行令第2条別表第2：アセトアミド)

## 16. その他の情報

### 参照情報：

1. 厚生労働省 職場のあんぜんサイト
2. 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂5版
3. 経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス(平成25年度改訂版(ver. 1.1))

本データシート内容につきましては、現時点での最新の情報を記載しておりますが、全てを網羅しているものではありませんので、取扱いの際には十分注意して下さい。又、記載されている値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をな

すものではありません。